

# 小学校出張講座13校・15講座—— 4年目も益々好評

津で生まれ、津で活動された谷川士清の偉大な業績を、同じ津に住む小学生が理解し、誇りを持ち、学習活動に励むよう、会の発足以来続けてきた小学校4年生を対象にした出張講座も、平成11年～13年の3ヵ年で延べ24校で実施したことになる。その間、各学校から児童の感想文が送られてきて、その素直な声に我々講師たちも励まされたり、内容を再確認したりした。今年は、これらの感想文をまとめ、全部で16ページの文集にして、9月に津市全部で22校の小学校と、谷川士清の会の会員に配布した。その成果もあったのか、今年の依頼校は13校15講座となった。三ツ村健吉顧問、竹田豊さんも加わり、5名が講師を務めた。どの学校でも、子どもたちは事前によく勉強しており、しっかりした意見や質問をするので、全校終了してからの反省会でも講師陣はあれやこれやの話が尽きなかった。

(啓発部 馬場幸子)

平成14年度「出張講座」日程表

学校名	月日・時限	講師名
雲出小	10/15 (3)	三ツ村健吉
新町小	10/23 (2)	馬場 幸子
藤水小	10/29 (2)	三ツ村健吉
南立誠小	10/31 (2)	馬場 幸子
北立誠小	10/31 (3)	馬場 幸子
安東小	11/ 6 (2)	渡辺 一夫
片田小	11/18 (3)	渡辺 一夫
南が丘小	11/19 (2)	竹内 令
白塚小	11/20 (2)	渡辺 一夫
神戸小	11/22 (2)	馬場 幸子
西が丘小	11/25 (2, 3)	竹内 令
育生小	11/26 (3)	竹内 令
高茶屋小	11/28 (2)	馬場 幸子
〃	〃 (3)	竹田 豊

## 今年初めて講師となった竹田豊さんの感想

「思うことの半分も話せなかったが、子どもたちの生き生きとした眼を見、士清を知ろうとする気持ちが伝わってきて嬉しかった。拙い話を聞いてくれた子どもたちや、学校に感謝している。」

## 谷川神社大祭で献茶

5月10日は士清の命日で、士清を祭る谷川神社では大祭が毎年行われてきたが、今年度初めて隣接する福蔵寺で当会がお茶会を催すことになった。津市指定史跡の反古塚が谷川神社に、国指定史跡の士清の墓が福蔵寺にあり、この日に茶会を催すのは、士清の偉業を津市民に広める絶好の機会である。私自身は表千家教授であるが、流派を問わずお茶の作法を知っている者も知らない者も数名の協力者を得ることができた。

折悪しく雨になり、野点の予定を急きよ、福蔵寺のお堂での手前に変更。最初の一服を谷川神社に献茶し、雨天にも関わらず訪れた神社関係者や、近隣の人々80余名に振る舞った。皆さんは神濃屋の「ことすが」や大岡屋のあやめの絵のじょうよ饅頭を味わい、士清を偲んだ。次年度は是非、旧宅での講演会等も行いたい。

(馬場幸子)

## 守濃鉄道

大正3年に津新町～椋本（現芸濃町）までの43kmを軽便鉄道が開通しました。当時はミニSLでお客を運んでいましたが、昭和3年からはガソリンカー（自動車が線路上を走るようなもの）と併用していました。

戦時中は、石炭も石油もなくガソリンカーも小さく切った木をくべて走る通称「木炭車」でしたので、馬力が弱く乗客が降りて列車を押ししたという話もあります。軌間（線路の幅）は76.2cmの超狭軌で、開通後椋本～林間（約20年で廃線）や、安東～片田間（約10年で廃線）などありましたが、昭和19年にレールは軍用に供出して全線廃線となりました。

津新町駅のあった場所は、八町通りのほぼ真ん中にあたる現在の八町3丁目12番の一番東と道路が駅前広場で、押加部町1番の東部分と道路が駅舎と機関車庫等でした。いま当時の面影の残るものは、駐車場になっているところにコンクリートの帯状になったものが2カ所ありますが、これは昔のプラットホームの跡です。また、駐車場を少し掘れば、機関車等の方向変換をした「転回台」跡もありますが、それ以外は何も残っていません。

(啓発部 増井治生)